



ニュース

2024 年

1

月号

発行日： 2023 年 12 月 31 日
発行者： カトリック横須賀三笠教会
TEL： 046-823-0042
FAX： 046-823-1031

e-mail : mikasa-church@aqua.ocn.ne.jp

が つ に ち せ かい へ い わ ひ

1月1日 「世界平和の日」にあたり

み か さ き ょう かい し ゅ に ん し さい は ま さ き ま さ み

三笠教会 主任司祭 浜崎真実

か と り く く き ょう かい こ よ み
カトリック教会の暦
まい と し が つ に ち
では、毎年1月1日を
せ かい へ い わ ひ
「世界平和の日」として、
き ょう こう め っ せ ー じ
教皇メッセージが
だ こと し
出されます。今年
じん こう ち の う へ い わ
「人工知能と平和」との
て ま は つ び ょう
テーマで発表していま
ち ゅう お う き ょう ぎ かい
す。中央協議会などの
ほ ー む べ ー じ
ホームページなどを
と お い ち ど く す す
通して一読をお勧めいた
します。

き よ ね ん が つ お
去年の10月に起きた
が ざ ギ ザ での虐殺と
い す ら え る ば れ す ち な
イスラエルとパレスチナ
せん とう や け は い
の戦闘は止む気配が
み こん げ ん
見られません。その根源
き り す と し ゃ
にあるのは、キリスト者が



ゆだやじん さバツ はくがい しゅうち
ユダヤ人を差別し迫害したことは周知の
じじつ きりすとしゃ かがいせい じかく
事実です。キリスト者としての加害性の自覚

うえ なに
とその上で何をするといいいのでしょうか。

しゃしん ベツレヘム ふくいんる ーてる
写真は、ベツレヘムにある福音ルーテル
きょうかい せっち いえす たんじょう
教会に設置されているイエスの誕生を
ひょうげん うまごや ぷれぜびお
表現した、いわゆる「馬小屋」(プレゼピオ)

じぎ てれび
です。時宜にかなったもので、テレビなどで
ほうどう ゆうめい めしあ
も報道され有名になりました。メシアの
たんじょう いわ くりすます
誕生を祝うのがクリスマスですが、
めしあ で
メシアはどこから出てくるのかを
かんが おも
考えさせるものだと思います。

たみ きき とき きき かいほう
民が危機にある時、その危機から解放す
つか めしあ
るために遣わされるのがメシアで、その
めしあ ま のぞ あどづえんと たいこうせつ
メシアを待ち望むのがアドヴェント(待降節)
きょうかい こよみ たいぼう
です。教会の暦では、待望のときをこえ

めしあ たんじょう いわ こうたんせつ むか
てメシアの誕生を祝う降誕節を迎えています。
ねん はじ ひと
2024年の初めに、どのような人たちが

きき お そうぞう
どのような危機に置かれているのかを想像
いま めしあ たいぼう ひと
し、そこで今もメシアを待望している人たち
へいわ つく だ あゆ
とつながることで平和を作り出す歩みを
はじ かだい
始めることを課題としたいものです。

へいわ あい ひと さいわ
イエスは「平和を愛する人は幸い」とは
い へいわ じつげん ひと さいわ
言わないで、「平和を実現する人は幸い」
またい しょう せつ よ
(マタイ5章9節)と呼びかけました。それぞ
れの時と「場」において平和を愛し、祈
とき ば へいわ あい いの
りだけでなく「平和を実現する」第一歩を
へいわ じつげん だいいっぽ
踏み出せたらいいと思います。私たちの
ふ だ おも わたし
す よこすか ことし げんしりよくうぼ
住んでいる横須賀では、今年(ことし)は原子力空母
こうたい よてい わたし みかさ
の交代が予定されています。私たちの三笠
きょうかい げんしりよくうぼ ていはく
教会は原子力空母が停泊しているところ
やく きろ いち
から約1キロに位置しています。

ねん がつ よてい 2024年 1月の予定

ねん がつ にち にち おこな きょうかいいんかい ほうこく
2023年12月3日(日)に行われた教会委員会の報告です。

てんれいれき きょうじ かつどう <典礼暦と行事・活動>

かみ ははせいまりあ せかいへいわ ひ しんねんみさ
1月1日(月)神の母聖マリア(世界平和の日) 11:00新年ミサ

ふくいんせんきょうぶかい
6日(土)福音宣教部会

しゅ こうげん きょうかいいんかい てんれいぶかい
7日(日)主の公現 教会委員会、典礼部会

ねんかんだい しゅじつ
14日(日)年間第2主日

ねんかんたい しゅじつ かみ しゅじつ
21日(日)年間第3主日(神のことばの主日)

まな こうざ きゆうやくぜんしよ よ はまさきし
11:00 学びなおし講座「旧約全書を読む」浜崎師

きょうかいがっこう
教会学校

はんせんびょうかぞくげんこくこうえんかい ふくいんせんきょうぶかい
27日(土)13:00 ハンセン病家族原告講演会 福音宣教部会

ねんかんたい しゅじつ せかい たす あ ひ
28日(日)年間第4主日(世界こども助け合いの日)

まる こふくいんしよ よ
9:00 「マルコ福音書を読む」福音宣教部会

たいこうせつもくそうかい へいわ みじか
待降節黙想会「平和は身近なところから」

いちききょうこ
市来京子

がつ にち せいばうろかい やまうちけんじしんぶ
12月17日、聖パウロ会の山内堅治神父
さま むか たいこうせつだい しゅじつ みさご
様をお迎えして、待降節第3主日のミサ後、
くりすます めっせーじ こうわ うかが
クリスマスのメッセージについて講話を伺
いました。

しんぶさま ばうろかい にゆうかい
神父様のパウロ会への入会のきっかけ
ながさき ひばくたいけん も おじさま
は、長崎での被爆体験をお持ちの叔父様の
えいきょう げんばくたいけん
影響であったそうです。原爆体験について
はな みぢか
はあまりお話しにならなかったけれど、身近
ひと せんそうたいけん き へいわ
な人から戦争体験を聞くと、平和について
まな はな
学ぶことができましたと、まずお話しになり
ました。

きりすと か ばおけ う
キリストは飼葉桶で生まれましたが、そ
にんげん
れには、人間がいなくなったもの、ごみを
す みす う
捨てるどころ、見捨てられたところに生まれ
ほんとう くりすます いみ
たという、本当のクリスマスの意味がありま
きりすとたんじょう かんが なざれ
す。キリスト誕生を考えると、ナザレから

べとれへむ きろ
バトレヘムへはおよそ100キロですが、
まりあさま ろば の やどや と
マリア様は口バに乗り、宿屋にも泊まれず、
うまごや う たいせつ
馬小屋でお産みになりました。大切にされず
う ひと さべつ ひと
に生まれてきたどんな人でも差別された人
みす くりすます
でも決して見捨てないという、クリスマスの
めっせーじ かんが たいせつ
メッセージを 考 えてみるのが大切です、
はなし むす
とお話を結びました。

もくそうかい ぜんご さんばうろ いどうはんばい
黙想会の前後には、サンパウロの移動販売
しんとかん おこな おお ひと
も信徒館で行われ、多くの人がいっしょ
せいひん め うば か もの たの
聖品に目を奪われながら、買い物を楽しみ
みさちゆう はな
ました。また、ミサ中にお話しされた、
えぬびーおーほうじんせいち こども ささ かい はんばい
NPO法人聖地の子供を支える会の販売
きふ みな きょうりよく よ
や寄付にも、皆で協力できたことも、良い
くりすます じゅんび おも
クリスマスの準備になったことと思います。

て ま ころ ひび せいしょ ことば
テーマ「わたしの心に響く聖書の言葉2」

みうら はるよ
三浦 晴代

さ がつ にち ど か とり っかなざわきょうかい
去る11月25日(土)カトリック金沢教会
きょうどうせんきょうしほくさ ぼ ー とち ー むかながわしゅ
にて、共同宣教司牧サポートチーム神奈川主
さい しんと しゅうどうしゃ しいさい とも しんこう
催の、信徒・修道者・司祭が共に信仰を
わ あ こうりゅうかい さんか とうじつ
分かち合う交流会に参加しました。当日
めいいじょうあつ がいこくせき かがた
は60名以上集まり、外国籍の方々も
たすうさんか ぜんたい
多数参加されていました。全体で8
ぐる ー ぶ わ ぐる ー ぶ
グループに分かれ、それぞれのグループで
ひとり せいしょ ことば はっぴょう かく
一人ずつ聖書の言葉を発表していき、各
ぐる ー ぶ えら せいこく もぞうし か だ
グループで選んだ聖句を模造紙に書き出し
ました。

わたし ぐる ー ぶ しいさい めい しすた ー
私のグループは、司祭2名、シスター2
めい しんと めい めい ず しきょうかい
名、信徒4名の8名でした。逗子教会の
みずかみしんぶさま わたしいがい ふいりびん
水上神父様と私以外は、フィリピン、
べとなむ かと みかさきょうかい べる
ベトナムの方たちで、三笠教会のベルさん

いっしょ みな
も一緒でした。皆さんそれぞれしっかりみこ
も ころ おくそこ
とばをお持ちで、それらが心の奥底にずっと
はげ すく
とあって、励まされ、救われたりしてこれ
こと じゅせん ひ あさ
た事がよくわかりました。受洗して日の浅い
わたし すば かん
私は、どのみことばも素晴らしく感じられ、
ひと えら はっぴょう たいへん
ただ一つ選んで発表するのはとても大変で
みなさま はっぴょう うかが いえすさま とも
した。皆様の発表を伺って、イエス様と共
じんせい あゆ こ
に人生を歩んで来られたのだということ
かん わたし じぶん はっぴょう
感じました。私は自分の発表をするのが
せいはいばい いろいろ けいけん かと
精一杯でしたが、色々な経験をされた方
はな うかが べんきょう
ちのお話しが何えて、とても勉強になりました。
きかい めぐ こと かみさま
した。このような機会に恵まれた事を神様に
かんしやいた
感謝致します。



講演会に参加して

おくむら しゅうこ
奥村 修子

かながわだい ち くきょうどうせんきょうしほく かみ あい
神奈川第4地区共同宣教司牧「神の愛を
あか ちから そだ ぶもん しゆさい がつ
証しする力を育てる部門」主催で、11月2
にち ど かとりつくず しきょうかい にほん
5日(土)カトリック逗子教会にて、「日本に
たど つ なんみん めぐ もんだい にゆうかんもんだい
辿り着いた難民を巡る問題と入管問題」
てーま べんごし こまいち えし にゆうかん
をテーマに、弁護士駒井知会氏(入管を
か べんごしねっとわーく こうし むか
変える！弁護士ネットワーク)を講師に迎え
こうえんかい おこな こまいし はな
て講演会が行われました。駒井氏の話し
つた ねつう なか よてい
たい！伝えたい！という熱意の中、予定
じかん ちょうか こうえんかい
時間をかなり超過しての講演会でした。
じこく かえ いのち はくがい
自国に帰れば命がない、迫害されると
じょうきょう いのち にほん すく もと
いう状況で、命からがら日本に救いを求
き しゆうかん なんみんにんていしんさ
めて来たのに、収監され難民認定審査さ

う なんねん にゆうかんしせつ と お
え受けられず、何年も入管施設に留め置か
また かえ かりほうめん さいしゆうかん
れる。又、くり返される仮放免、再収監と
きぼう ぜつぼう せいしん へ
いう希望と絶望。精神はすり減ってゆく。
せんぜん とっこう い にゆうかん
戦前の特高のようだと言われる入管。
さくねん こく にん なんみんしんせい
昨年は68か国、372人の難民申請があっ
ころなか すく ことし すで
た(コロナ禍でかなり少ない)。今年は既に1
にん じしんせいしゃふく こ
0、000人(2次申請者含む)を超えている。
にほん なんみんにんていりつ
日本の難民認定率は0、3%あまり。21
せいき にほん む
世紀、日本はどこを向いているのだろうか。
し す すこ
知らなかったでは済まされない。ほんの少し
し なに なに
でも知ったのならば何ができるのか、何か
さが
できることを探したい。

福音宣教会からのお知らせ

さんど よしえ
三戸 良枝

ほうむしやう さだ じんけんしゆうかん がつ にち
法務省が定める人権週間(12月4日～
がつ にち あ ふくいんせんきょうぶかい
12月10日)に合わせて福音宣教会は、
はんせんびやうもんだい と く ふじのゆたか
ハンセン病問題に取り組んでこられた藤野豊
し まね がつここのか ど こうえんかい
氏をお招きし、12月9日(土)に講演会と
さわかい かいさい
茶話会を開催しました。
さいしょ はんせんびやう せつめい ぜつたいかくり
最初にハンセン病の説明と絶対隔離の
れきし ふじのし はんせんびやうもんだい かが
歴史、そして藤野氏がなぜハンセン病問題に関

くに せきにん と こくばい
わることになったのか、国の責任を問う国賠
そしやう さいご はんせんびやうもんだい いま
訴訟、最後にハンセン病問題の今をわかりやす
はな
くお話ししていただきました。
とっこうやく かいはつ かんち やまい
特効薬の開発により完治する病になった
かか くに きやうせいかくりせいさく
にも拘わらず、国は強制隔離政策を40
ねんかん つづ もとかんじゃ じんけん むし つづ
年間も続け、元患者の人権を無視し続けまし
さべつ へんけん なが う
た。そのため差別と偏見を長きにわたって受け

つづ もとかんじゃ かぞく かたがた くる かな
続けた元患者やご家族の方々の苦しみや悲
しみは、耐えがたいものであったでしょう。
もとかんじゃ かたがた こうれい かんち やまい
元患者の方々もご高齢になり、完治する病
になったことで、近い将来、ハンセン病の歴史
が忘れ去られるようになるかもしれませんが、
国は事実を捏造せずに公文書に残してもらい
たいと思いました。
そして私たちも世の中の沢山の差別や

じんけんしんがい む あ
人権侵害と向き合い、ひとつとにしない、そし
て人の気持ちに寄り添って生きていきたいと思
いました。
1月27日(土)には、ハンセン病家族訴訟原告
の方の講演会があります。「自分とは関係ない
こと」と捉えず、元患者の家族の生の声を聞い
てほしいと思います。宜しく願います。

ハンセン病国賠訴訟の意義

ふじの ゆたか
藤野 豊

日本国憲法の第11条では、「基本的人権
は、侵すことのできない永久の権利」と明記さ
れています。ここだけを読むと、自由と平等の
権利はすべての国民に保障されているように
受け止められます。しかし、次の第12条では、
この基本的人権について、国民は「常に公共
の福祉のためにこれを利用する責任を負う」と
記され、さらに、第13条では「生命、自由及
び幸福追求に対する国民の権利については、
公共の福祉に反しない限り、立法その他の
国政の上で最大の尊重を必要とする」と記
されています。すなわち、「公共の福祉」に反す
る場合は、国民の権利は制約され、立法上の
不利益も許されるということになります。
憲法発布後、「公共の福祉」とは具体的にど
ういうことかが明確に示されないまま、基本的

人権の制約条件とされ、現実には、多数の
国民の利益のためには少数の国民の人権が
制約されても仕方がないという解釈が罷り
通ってきました。公務員のストライキは「公共
の福祉」に反するから禁止する、障害者が子ども
を産むことは「公共の福祉」に反するから不妊
手術を強制する、国全体の安全保障のため
には沖縄県民には基地負担を堪えてもらう、
こうしたことが憲法上、許されてしまったので
す。そして、ハンセン病患者が街中を歩くこと
は「公共の福祉」に反するから隔離するとして、
日本国憲法の下で強制隔離政策が継続され
ました。

1998年に、そうした隔離政策が違憲である
として、13人のハンセン病回復者により国賠
訴訟が起こり、2001年5月11日、原告勝訴

はんけつ くだ しょうそはんけつ たん
の判決が下りました。この勝訴判決は、単に
はんせんびょうかいふくしゃ じんけんかいふく
ハンセン病回復者の人権回復ということにと
たすうしゃ りえき しょうすうしゃ
どまらず、多数者の利益のためには少数者の
じんけん ぎせい こうきょう
人権が犠牲になってもよいとしてきた「公共
ふくし かいしゃく ひてい
の福祉」の解釈そのものを否定するものとなり
しょうすうしゃ ふく
ました。少数者を含めたすべてのひとびと

こくみん にほん く
（「国民」だけではなく日本に暮らすすべてのひ
きほんてきじんけん ほしょう
とびと）の基本的な人権を保障するべきだという
あら けんぼうりねん う てん
新たな憲法理念が生まれたのです。この点にこ
はんせんびょうこくばいそしょう は おお
そ、ハンセン病国賠訴訟が果たした大きな
いぎ
意義がありました。

いんたーなしよなる くりすます せれぶれーしょん
インターナショナル クリスマス セレブレーション

かとう みさこ
加藤 美左子

がつ にち いんたーなしよなる
12月3日にインターナショナル
くりすます せれぶれーしょん さんか
クリスマス セレブレーションに参加しました。
ことし きちないちゃペル ねん あ
今年は、基地内チャペルができて75年に当
きねん しゅうねんふらっぐ いま
たり、記念の75周年フラッグや今までの
あゆ の あるぼむ うつく
歩みを載せたアルバムが美しい
くりすますでこれーしょん とも てんじ
クリスマスデコレーションと共に展示されて
いました。

みさ
ミサは Yokosuka Citizenship
ごすべる はじ ぜんほう
Committee のゴスペルから始まり、前方
すくりん うつだ かしみ
のスクリーンに映し出された歌詞を見ながら

あめりかじん にほんじんみな さんびか がつしょう
アメリカ人・日本人皆で賛美歌を合唱しま
つづ あどべんときゃんどうる たいこうせつ
した。続いてアドベントキャンドル（待降節）
とうか せいしろうどく せつきょう つづ おごそ
灯火、聖書朗読、説教と続き 厳かな
ふんいき なか みさ すず えいご にほんご
雰囲気の中、ミサは進みます。英語・日本語
どうじつうやく えいご わか かた
同時通訳があり、英語の解らない方でも
きがる さんかでき みさ みさ さいご
気軽に参加出来るミサでした。ミサの最後
ふたたごすべる せいかに き かいじょう
は再びゴスペルによる聖歌を聞き、会場が
いったい じかんほど しゅうりょう
一体となり、1時間程で終了しました。

かとりっくしんぶんがかり し
カトリック新聞係からのお知らせ

かとりっくしんぶんがかり たかだ いさお
カトリック新聞係 高田 勲

がつ かとりっくしんぶんこうどくこうしんつき がつちゅう しゅじつ みさ ぜんご
2月は、カトリック新聞購読更新月となりますので、2月中の主日ミサの前後
こうどくりょう はらいこ しんきこうどくもうしこ など てつづ
に購読料の払込み、新規購読申込み等の手続きをいたします。
こうどく ちゅうし ばあい がつちゅう もう で
なお、購読を中止される場合は、2月中にお申し出ください。